

【門川町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「令和の日本型学校教育」の構築を目指した中央教育審議会の答申（令和3年1月）及びそれに続く政府の議論においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが求められている。これまでの先進事例等による研究から、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実と「ICT活用」はベストミックスであるため、これらの実現において、1人1台端末の活用は、重要な役割を担っている。

今回の端末更新を行う対象4校においては、それぞれの学校や児童生徒の実態等に応じ、GIGAスクール構想により整備されたICT環境のもと、研修や授業研究を行い、1人1台端末の効果的な利活用に向けての実践を図ってきた。今後、GIGAスクール構想第2期に向けて、リーディングDX指定校等の先進事例等も踏まえた上で、以下のような児童生徒の学びの姿を目指していく。

まず、「個別最適な学び」の実現において、児童生徒は、1人1台端末を通じて個々の理解度や学習ペースに合わせた、より1人1人の児童生徒の実態に応じて学びを進めるものとする。

また、「協働的な学び」の実現において、児童生徒が、他の児童生徒、地域の方々等とチャットやオンライン会議でつながり、課題解決に取り組む機会を増やすことで、多くの他者の考えに触れ、自己の考えを広げ深めることを目指す。また、グループワーク等を通じて、多様な他者と協働することを通して、非認知能力等を高める。

2. GIGA第1期（～令和5年度まで）の総括

令和2年度に町内小中学校4校に、1,521台（Windows）の端末を整備している。また、令和5年度までに、大容量通信ネットワークや周辺機器等も含めたICT環境の整備が完了している。

さらに、ネットワーク整備については、令和6年度にネットワークアセスメントを実施予定であり、不具合の原因を明らかにし、今後、ネットワーク環境改善に向けた対策を行う。

これらのICT環境の整備に加え、本町では令和3年度からICT支援員による教職員のサポートに努めてきた。これまでは、機器の不具合による問い合わせ等の対応が主であったが、今後は、教職員のICTを活用した授業のアドバイスや、授業の質の向上を目指した研修会の充実を図る。

また、令和4年度には、貸出用WiFi機器の整備を行い、持ち帰り学習時への対策を講じたところである。

3. 1人1台端末の利活用方策

本町では、令和8年度に対象校4校の端末更新を計画しており、更新にあたり各学校及び関係各課が情報共有を図りながら、更新作業を進めていく予定である。さらに、適切なネットワークアセスメントを行うことで、児童生徒にとってさらに充実した1人1台端末の環境を維持していくことを目指す。

これらのICT環境の充実を前提として、1人1台端末の効果的な利活用推進に向けて、次の3つの視点から目標達成に向けての取組を行う。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

対象校では、これまでも教育研究所が実施する研究普及活動として、ICTを活用した授業研究等を行ってきた。今後は、ICT支援員が企画した研修会等を通じて、より多くの教職員に対して効果的な端末の利活用についてのスキルを身につけさせ、授業での利活用を積極的に行っていただくことを目指す。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

児童生徒が「自分で調べる場面」「自分で考えをまとめ発表する場面」「児童生徒同士や教員とやりとりする場面」において、積極的に1人1台端末を活用することができるように、ICT教育スキルアップ研修等において、具体的な活用事例の情報共有を図っていく。

(3) 全ての児童生徒の学びを保障するために

不登校の児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒及び障がいのある児童生徒等に対して、1人1台端末を活用することで、学びの幅を広げ様々な状況の児童生徒の学習機会を確保する。また、障がいのある児童生徒については、児童生徒の特性に応じて、入出力支援装置やデジタル教材等を整備することで、学習の効果を高めたい。

4. 今後の計画について

これらの現状等を鑑み、今後は以下の項目について重点的に1人1台端末の利活用を推進する。

(1) 研修等の充実

毎年度、ICT活用等に関する研修会を、教職員が希望に応じて受講できるようにする。

(2) 教職員への情報提供

校務支援システム等を活用し、端末の利活用に関する情報提供を行う。
個別最適・協働的な学びの充実のための情報共有の仕組みを作成する。